

巨大な地下空間を 住民と「ご一緒」して守る高校生



企業・学校部門

長野俊英高等学校 郷土研究班

〒388-8006 長野県長野市篠ノ井御幣川1045
TEL 026-292-0726

1985年より学校のそばにある巨大な地下空間、戦争遺跡「大本営等予定松代地下壕群」を住民と協働して守り、地域の発展のために活動をしています。また、取り組みを通じて郷土を愛しお年寄りを敬う礼儀と謙虚さを身につけていきます。

具体的な活動内容は、以下の通りです。

- ・遺跡の調査と、戦争体験等の証言の収録、冊子化
- ・長野市や県に保存と公開を要請
- ・国の史跡への指定と、世界文化遺産登録を目指す
- ・年間10万人以上になる見学者の案内と交流
- ・大本営関連グッズを考案し、地域の産物と共に地域活性化の為に販売
- ・大本営等予定松代地下壕群の内外及び周辺の環境美化

現在長野市開発公社や長野県学習旅行誘致推進協議会と提携して、「保存・公開のきっかけをつかった高校生が案内します」というキャッチフレーズで、全国の小中学生・高校生の修学旅行などの団体の松代大本営跡への受け入れをはかっています。



菅副総理(当時)北沢防衛大臣のご視察をいただき、お褒めの言葉も頂戴できた。
生徒・父母と共に住民も出迎えた。(2010/3/27)



台湾僑泰高級中学校をお迎えして松代地下壕を案内(2010/3/2) 県学習旅行誘致推進協議会より頼まれて